

平成30年10月吉日

# 四谷四丁目法人部 部 員 各 位

四谷四丁目法人部事務局

## 法人部研修会のご案内(その2)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は四谷四丁目法人部の運営にご協力、ご理解を賜りありがとうございます。

さて、ご案内(その1)でお知らせしたように今回の研修会は、宇都宮市にある大谷資料館(オオタニショーヘーションではなくオオヤ)の大谷石(オオヤイシ)地下採掘場跡を始め近隣の大谷観音等を見学し、帰路では人気の道の駅ろまんちっく村にも寄る日帰りツアーを企画致しました。

記

### ～～<sup>おおや</sup>大谷資料館&日本最古の石仏「<sup>おおや</sup>大谷観音」見学～～

1. 日 : 平成30年11月8日(木)
2. 見学地 : (1) 貸切「はとバス」にて四谷区民センターを出発  
(2) 大谷資料館(大谷石地下採掘場跡等)見学  
(地下30mに広がる神秘の巨大空間・ブラタモリでも紹介)  
(3) 豆腐と湯葉懐石(月山) 昼食  
(4) 大谷寺・日本最古の石仏「大谷観音」見学  
(5) 宇都宮道の駅ろまんちっく村(アド街ック天国でも紹介)  
(6) 四谷解散(四ツ谷駅→区民センター)
3. 集 合 : **四谷区民センター前 7時45分 時間厳守**
4. 費 用 : 原則1社2名まで無料 \ 新宿区内藤町87番地
5. 申 込 み : 次頁申込票にて**10月25日(木)**までに FAX または Mail 願います。
6. 行 程 : 全行程貸切観光バスです。
7. 旅 行 社 : 法人部部員でもある(株)エース航空三鷹
8. 解 散 : 17時30分前後、区民センターにて解散。(四ツ谷駅下車可)



行程	8:00 出発	～ バス	10:30-11:45 大谷資料館見学	～ バス	12:00-13:15 豆富湯葉懐石 月山・昼食	～ バス
	13:30-14:15 大谷寺見学	～	14:30-15:15 宇都宮道の駅ろまんちっく村	～ バス	17:30/17:40 四ツ谷駅&区民センター解散	

・当日の交通事情により予定時刻は前後する可能性があります。

★大谷資料館の地下は冷蔵庫並みの気温ですので、服装にご注意ください。

※人数制限がありますので、部員限定の先着順とさせて頂き、原則1社2名まで(その社に所属している方のみ)とさせて頂きます。(所属でない家族、兄弟、友人は一般扱いです)

※10/25 締切後、一般参加の余裕がある場合、有料にて別途募集いたします。

FAX 申込票 03-3357-7724

平成30年10月 日

四谷四丁目法人部事務局 (株)ヒロセ企画 行  
<<切り取らずにこのページのみ FAX してください。>>

申込期限 10月25日(木) 先着順

★不参加の場合でもご連絡いただくと幸いです。★

ご法人名	参加 / 不参加
フリガナ ご参加者名 1	
フリガナ ご参加者名 2	
通信欄	

おおやいし  
【大谷石地下探掘場跡】

おおや大谷資料館の地下探掘場跡は、1919年(大正8年)から1986年(昭和61年)までの約70年をかけて、大谷石を掘り出して出来た巨大な地下空間です。その広さは、2万平方メートル(140m×150m)にもおよび、野球場が一つ入ってしまう大きさです。なお、坑内の年平均気温は8℃前後で、地下の大きな冷蔵庫といった感じです。戦争中は地下の秘密工場として、戦後は政府米の貯蔵庫として利用され、現在では、コンサートや美術展、演劇場、地下の教会として、また写真や映画のスタジオとしても注目を集めています。



がっさん  
【豆富湯葉懐石 月山(昼食)】

栃木県産の美味しい素材を取り揃え、体と心にやさしいお料理を楽しんで頂けます。



【大谷寺・日本最古の石仏「大谷観音」】

大谷寺本尊千手観音(高さ4m)は、平安時代(810年)弘法大師の作と伝えられています。古くから大谷観音と称され、鎌倉時代に坂東19番の霊場となり、多くの人々から尊崇されてきました。最初は、岩の面に直接彫刻した表面に赤い朱を塗り、粘土で細かな化粧を施し、更に漆を塗り、一番表には金箔が押され金色に輝いていました。最新の研究では、バーミヤン石仏との共通点が見られることから、実際はアフガニスタンの僧侶が彫刻した、日本のシルクロードと考えられています。

【宇都宮道の駅ろまんちっく村】

「道の駅うつのみやろまんちっく村」は、人と地域と豊かな里山にふれあう道の駅。46ha(東京ドーム10個分)という広大な面積の中に、農産物直売所や地物の食材が楽しめる飲食店だけでなく、体験農場や森遊び、ドッグラン、温泉やプールに宿泊施設がある滞在体験型ファームパークです。私たちがお伝えたいのは「農と食」によるおもてなし。だからここには、都会的な日常では経験できない豊かな里山農村の日常があります。そして故郷に似ている「やさしい時間」があふれています。



(問合せ先) 四谷四丁目法人部事務局  
株式会社 ヒロセ企画 担当 関谷  
TEL. 03-3359-5902 FAX. 03-3357-7724  
sekiya.t@san-hiro.com